



アカマルカイガラムシ



タバココナジラミ



ワタアブラムシ



ミカンハモグリガ



チャノキイロアザミウマ



アドマイア[®]

フロアブル

**防除回数軽減・主要害虫に、
幅広い適用作物と優れた残効性。**

- かんきつのアブラムシ類、ハモグリガ、スリップス、野菜のアブラムシ類、花卉のアブラムシ類・コナジラミ類などを長期間防除します。
- 優れた残効性により、防除回数を減らすことができ省力防除が可能です。
- 登録作物も多く、フロアブルタイプなので薬液の汚れも少ない使いやすい薬剤です。



- 浸透性に優れていて、葉裏や、巻葉中のアブラムシに対しても優れた効果を発揮します。
- 発生回数の多いアブラムシに対し長期間にわたって効果を発揮し防除回数の軽減に役立ちます。

- ミカンハモグリガに高い食害防止効果があります。
- 作物に対する葉害が少なく、安心して使えます。
- フロアブル製剤で作物の汚れが少なく使いやすい薬剤です。
- マシン油との混用が可能です。

■適用害虫および使用方法

(2008年10月現在の登録)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	107-ル 当り 使用回数 (日)	使用 時期*	本剤 の 使用 回数	使用方法	イミダクロ プリドを含む 農薬の総 使用回数*
かんきつ	ケシキスイ類 コアオハナムグリ	4000~5000	200~700	14日	3回	散布	3回
	コナカイガラシ類	2,500					
	アカマルカイガラシ	2500~5000					
	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類	2000~5000					
	ミカンキジラミ	2,000					
	ゴマダラカミキリ成虫	2000~5000					
	アブラムシ類	40					
	アブラムシ類	20					
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	5,000	200~700	21日	2回	2回	
あんず	アブラムシ類	5,000					
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2,000					
なし	アブラムシ類	5,000					
もも	モモハモグリガ	5,000					
キウイフルーツ	カメムシ類	2,000					
ビタヤ		2,000					
アセロラ		2,000					
レタス	アブラムシ類	4,000	100~300	7日	2回	散布	3回 (育苗期の株 元散布は1回、 散布は2回)
非結球レタス							
メキャベツ 非結球メキャベツ							
キャベツ							
はくさい							
非結球あぶらな科 葉菜類 (みずなを除く)							
きゅうり							
くわい エンダイブ							
ほうれんそう	アブラムシ類 ネギアザミウマ	2,000	100~200	前日	3回	3回	
モロヘイヤ	ネギアザミウマ						
うど	アブラムシ類						
未成熟そらまめ	アブラムシ類						

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	107-ル 当り 使用回数 (日)	使用 時期*	本剤 の 使用 回数	使用方法	イミダクロ プリドを含む 農薬の総 使用回数*	
とうもろこし	アブラムシ類	64	3.2	14日	2回	ヘリコプター による散布	3回(種子粉 衣は1回、は 種後は2回)	
オクラ	アブラムシ類 アザミウマ類	4,000	100~300	前日	3回	散布	3回	
しそ	アブラムシ類			7日	1回		1回	
しそ(花穂)	アブラムシ類			7日			2回	
ねぎ	ネギアザミウマ			14日			3回(定植時の 土壌混和は1回、 散布は2回)	
わさび	アブラムシ類	4,000	100~300	3日	2回	散布	2回	
あさつき	ネギアザミウマ			2000~4000	7日			2回
ごぼう				7日			2回	
葉ごぼう				7日			2回	
だいこん	アブラムシ類			14日			3回(は種時の土 壌混和は1回、は 種後は2回)	
みずな	アブラムシ類			3日			2回(は種時の 土壌混和は1回)	
食用ぎく	アブラムシ類 アザミウマ類			7日			2回	
ふき	アブラムシ類 コナジラミ類			7日			2回	
細わさび				7日			3回	
わさび				7日			2回	
ふだんそう		7日		1回				
せり科葉菜類 (コリアンダー(葉)、 セルリー、パセリ、み つば及びせりを除く)		14日		2回(定植時の 土壌混和および 株元散布は合計 1回、散布は1回)				
パセリ	アブラムシ類	14日		3回 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回、散布は 2回)				
れんこん		2回		3回 (定植時の土 壌混和は1回、 散布は2回)				
コリアンダー(葉)		3日		2回				
はまぼうふう(葉)		7日		3回				
セルリー		14日		2回				
食用ブロッ き(葉)		14日		3回				
さんしょう(葉)		3日		1回				
食用さくら(葉)	アザミウマ類	3日		5回				
ポインセチア	アブラムシ類 コナジラミ類	2,000	100~200	発生 初期	5回	5回(株元灌 注は2回)		
きく	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	2,000	100~200	発生 初期	5回	5回(株元灌 注は2回)		
つつじ類	ツツジグンバイ	2,000	100~200	発生 初期	5回	5回		
花き類・観葉植物 (きくを除く)	アブラムシ類	2,000	100~200	発生 初期	5回	5回		
デイゴ	デイゴヒメコバチ	2,000	200~700	2回	2回	2回		

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■注意事項

●使用前に容器をよく振って下さい。 ●無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。

- ミツバチに対して影響がありますので、養蜂が行なわれている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 散布は散布機種に合った散布装置を使用して下さい。
- 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
- 散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行なって下さい。
- 散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装などに被害を与える恐れがあるなど分野に影響がありますので散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
- 水源地、飲料水などに本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - ①使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
 - ②機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。

- 畜に対して長期間毒性があるので、絶対に糞尿にかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散する恐れのある場合には使用しないで下さい。
 - 受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園などでは使用を避けて下さい。
 - 養蜂が行なわれている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 医薬用外劇物なので、取り扱いに十分注意して下さい。
- 散布時は、保護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。
- 薬剤が眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は、直ちに水洗して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を守って下さい。本剤を適用作物群に属する作物またはその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除など関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。